

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・かみふうせん		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「学習」「せいさく」「ことば」「SST」「個別」タイムなど、様々なプログラムをコマ制で実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30分ずつの時間で区分している。そのため、利用時間を分散することで、より個に応じた対応ができる。</li> <li>・時間で区切ることで、切り替えて行動できる習慣が身に付けられる。</li> <li>・その子に応じたプログラムを組むことができる。個の活動、集団活動を組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間にまで入ることがよくあるので、こちらが時間でしっかり終われるようにすることで、子どもたちもより切り替えができるようにしていく。</li> <li>・それぞれの活動内容の充実を図る。</li> </ul>
2	集団活動・個別活動を組み合わせた活動をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の活動で身に付けたことを集団活動で生かす。交互に運用することで子どもの成長につなげている。</li> <li>・集団が苦手であったり、その日のその子の状況などを考えて、懇談をしたり、その子の好きな制作をしたりなどのプログラムを組んでいる。また、少しずつ集団活動に入れるように段階的な支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別対応が必要な子どもに対しては、できるだけ個別対応ができるように、スタッフの充実を図っていく。</li> <li>・集団活動では、訓練というよりも、ゲーム的な活動で、より楽しく興味を持って取り組めるように工夫していく。</li> <li>・教材、教具を工夫し、常に新鮮な体験や活動を提供する。</li> </ul>
3	スタッフの専門性を生かしている。毎月研修を行い技量アップに心がけている。また、すべての職員が受容的な態度で子どもに接している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに強制することはない。常に先ず子どもの気持ちをどの職員も受け入れるようにしている。こうしないといけなという枠を作ることなく、その子に応じた、また長期的なかかわりをしている。</li> <li>・公認心理士や作業療法士などの資格のあるものや、教員経験のある者など、それぞれの専門性を生かして関わってい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の専門的な講師を招いて研修を行い、職員の更なる力量アップを目指していく。</li> <li>・子ども理解を進め、いろいろな子どもへのかかわり方の研修を行うと共に、日々、それぞれの子の発達状況を情報交換していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画の作成や安全点検が定期的に実施はできていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性の確保は、その都度実施はしているが、計画的に行っていく意識が薄かった。</li> <li>・危険認識が低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに必ず作成し、年間計画に入れていく。</li> <li>・安全項目など具体的にあげ、点検票を作っていく。そうすることで、危険意識を共有していく。</li> </ul>
2	外部研修ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月職員研修は、各職員が分担して実施している。それでよしとしていた。また、どんな外部講師を呼ぶことができるのか分からなかった。</li> <li>・時間を取るのが難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネスや発達支援センターなどと連携を取り、直接子どもを観察していただき、具体的なかかわりについて研修を行っていく。</li> <li>・リモートなどを使うことで、時間の負担を削減して行えるようにしていく。</li> </ul>
3	外部施設など、当施設の外へ出ていく活動が少なかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コマ制や、長期休業日も短い利用時間であったため、時間が取れなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の時は難しいが、長期休業日は利用時間が長くなったので、外へ出ていく時間が取れるようになった。</li> <li>・障がい者体育館や防災センター、また、児童館、公民館、公園など地域の施設を利用する活動をしていく。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
放課後等デイサービス・かみふうせん		2026/3/1				34人	22	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	0	0	10%	・人数は配置されていますが、新しい方が来ても分からないです。 ・送迎対応をもう少ししていただけると助かる。	・職員の増員をする。 ・年度当初に、職員の紹介をしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	85%	0	0	15%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	95%	0	0	5%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	85%	0	0	15%	・設問の意味が分かりにくいです。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85%	0	0	15%	・色々なゲームなど、考えてくださっていると思う。	・200以上のアイテムがある。新しい教具を随時購入している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10%	10%	15%	65%	・そのような機会はないようですが、不満はありません。	・他の子との交流は考えていないが、児童館などは、長期休業日の時に利用するようにする。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45%	10%	5%	40%	・イベント等で交流の機会を設けている。	・夏祭りで行うようにしている。もう少し参加を呼び掛けるようにする。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	90%	5%	0	5%		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90%	0	0	10%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25%	10%	15%	50%	・そのような機会はないようですが、不満はありません。	・夏祭りで行うようにしている。もう少し参加を呼び掛けるようにする。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	75%	5%	0	20%	・申し入れをしたことがない。	・相談があればすぐに対応している。また、こちらからも積極的に家族支援を呼び掛けている。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%	0	0	5%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90%	5%	0	5%		・毎年、年に2回マニュアルをもとに訓練等を行っている。お便りでお知らせしているが、さらに積極的に知らせしていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	95%	0	0	5%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	95%	0	0	5%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	65%	0	0	35%	・事故やけがが発生したことがない。	・その都度速やかに対応すると共に、保護者にも連絡をしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90%	10%	0	0	・もともとデイに通所することが好きではない。	・今後も子に応じた対応や子どもが意欲的になる活動を組んでいく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	85%	10%	5%	0	・もともとデイに通所することが好きではない。 ・とても楽しみにしています。ガチャも好きようです。	・保護者と連携を取り、無理に通わせるのではなく、本人の気持ちに寄り添いながら、興味関心が持てるようにする。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%	5%	0	0	・長期休暇時、朝から利用できるようになり助かります。	・保護者とよく連携を取り、保護者のニーズを把握して対応できるようにしていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス・かみふうせん				公表日	令和8年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・コマ制にしているので適切である。集団活動の広いスペースと、個別に対応する部屋もある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・現在は、職員が増えてきた。 ・現時点では、おおむね適切である。	・職員が休みの時に足りなくなる。 ・厳しい時もある。 ・現在は職員が増員されている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・分かりやすい構造になっている。 ・バリアフリー化もされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日清掃している。 ・集団、個別活動と別れている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・無理に集団活動に参加することなく、随時個別の部屋を活用している。	・個室はないが、パーティションで仕切った空間を作り対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・毎年、今年のプランを作成し、全職員と共有している。	・スタッフが入れ替わってからの周知ができていない。 ・今後年度当初のプランを共有していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・1年おきにアンケートを取り、改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・よく会議している。	・職員の面談はない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		・第三者評価はしていない。外部評価をしてほしい。毎年招待している講師に評価してもらおうとする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・毎月、全職員が担当して実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ブログなどで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・保護者へのモニタリングや個別支援会議において、保護者のニーズを把握して作成している。四者面談をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・全職員が関わっている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・全体で支援会議を行い作成し、その後ファイルは、いつでも職員が見られるようにしている。	・周知されているか分からない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・フォーマルアセスメントは外部からの情報、行動観察でできている。細かく実施している。	・フォーマルアセスメントが弱い。他の機関でした情報を共有できるようにする。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・支援内容は、具体的に書かれている。その子に応じて、家族支援、地域支援も作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・毎日スタッフ間で相談の上決定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・300種類以上のレクが考えられている。 ・新しい教材や教具を随時購入している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別の活動や個別対応、集団活動と適宜組み合わせしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・必ず打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・毎日行っている。必ず振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・連絡帳に記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを図っている。3か月に1回行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	・その子に応じて組み合わせを行っている。	・地域交流の機会の提供はしていない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・バレーポイントの個人の目標を、自分で決めるようにしている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3	・ケース会議、支援会議での子どもの様子を情報交換した記録をもとに、児童発達管理責任者が出席している。	・児発管のみの参加にとどまっている。担当者も参加してもいいと思う。分からない。時間調整ができるようであれば担当者も参加する。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4		・できている部分と不十分な部分がある。一部出ていない。体制としてはない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・必要に応じて連絡を取り合っている。	・全ての学校とは出ていない。学校行事等は、保護者と連携している。 ・今後学校との連携を推進していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	・必要に応じてできている。	・特に行っていないのではないかと。 ・新1年生には行っている。職員と情報を共有する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・今までに該当者はいなかった。	・特に行っていないのではないかと。よく分からない。卒業生に関しては、積極的に連携して情報を提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		・特に行っていないのではないかと。 ・行っていない。受けていきたい。 ・今後積極的に設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		・作っていない。長期休暇中の期間にとってもいいのではないかと。児童館などの地域の施設の利用を進めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		・参加していない。分からない。 ・放課後等デイサービスが参加する自立支援協議会がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・お迎えの時に、積極的に声掛けをしている。会える保護者とは行っている。	・保護者の送迎がない所は、あまりできないと思う。送った時に連携したり、気になる事例の時は、こちらから連絡を取ったりしている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・情報提供は行っている。	・できていない。 ・保護者向けの講演会の案内などはしている。さらに、お便り等で啓発していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明をしている。また、長期休業日の利用や家族支援についての説明を行った。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・支援計画更新時には、面談を行い、子ども、保護者の意向を確認している。	・子どもの意向の確認をもう少ししたい。 ・担当が子どもの気持ちを確認していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・支援計画更新時に必ず面談を持ち説明を行い同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・家族支援の希望に合わせて対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	・夏祭りや、一応機会は設けている。 ・保護者会を行うことは難しい。あまり集まらない。夏祭りなどイベントに保護者、兄弟を招待して交流の機会を設けている。	・父母の会はない。 ・現状対応とする。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	・ラインで、まめに連絡を取り合っている。 ・体制は整っており、契約書にも表記している。	・周知はしていない。体制は整っていない。 ・契約書にて通知している。体制は整っている。職員への周知が必要。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ホームページ、SNS、月1回のおたよりで積極的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報を持ち出さない。担当者解答へ行くときは、許可を得るようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・職員研修をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・ほとんどない。地域の人を招待しにくい。個人情報の関係もある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・家族への周知は不十分だが、それ以外はできている。	訓練は実施しているが、保護者に向けてマニュアルの周知はしていない。お便り等で積極的に知らせしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		・非常災害時の避難訓練は随時行っているが、BCPはまだ作成途中である。今年度作成し、研修の予定である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・予防接種まで確認はしていないが、服薬は確認している。	・一覧表を作り、常に確認できるようにする。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	・対応している。医師の指示書がある子はいない。クッキングのたびに再度確認している。	・一覧表を作り、常に確認できるようにする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		・安全に関する規定はないのではないかと。 ・防災訓練等はできているが、定期的な安全点検ができていない。今後作成し、定期的に行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4	・イベントやクッキングなどの時は、家族と連携をして安全確認を行っている。	・分からない。家族にどのように説明されているか分からない。お便りや連絡帳等で周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・毎日の振り返りで行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修で実施している。 ・子どもの気持ちを受け止め、無理に活動に参加させないようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束の対象者はいない。		